



## じんこうてき つく マリモは人工的に作れるの

### りよくそう まる あつ マリモは緑藻が丸く集まったもの

マリモをつくる緑藻の1本1本を、糸状体といいます。糸状体をよく見ると、細かな枝分かれがあり、たがいにからまりやすい構造をしています。糸状体1本1本が、それぞれ1つ1つの植物です。糸状体はマリモのように丸く集まっているものから、1本1本が湖底にぶちやく せいかつ せいかつ 生活しているもの、数本がからまり すいちゆう たば すかた 水中を漂っているものと、さまざまな姿で生活しています。

マリモとよばれているのは、このうち、糸状体が丸く集まった形をしているものだけです。

### じんこう 人工マリモ

糸状体を外国からゆにゆう 輸入し、それをくだき、人工的に丸くしたものを人工マリモといいます。糸状体が天然物より短く、丸くなる集まり方もちがいます。売られていたマリモをすいそう そだ て、ふやしたという例が全国各地でほうこく 報告されています。くうき みず たいりゅう 空気ポンプで、水を対流させながらさん そ きようきゅう みず しょうかそうち ひあ お ほうほう 酸素を供給し、水の浄化装置をとりつけ、日当たりのよいところに置くという方法です。また、ひろくち いどみず ひあ ところ お かんたん ほうほう そだ れい 広口のびんに井戸水を入れ、日当たりのよい所に置くという、簡単な方法で育った例もあります。この例では、使った井戸水が生育に適していたと考えられています。

(監修・中山 周平)

